

2023 年度 熊本ライトハウス 事業報告

1 総括

2023 年度は新型コロナウイルス感染症のリスクレベルが5類に下がったことにより、少しずつではあるがコロナ禍前の日常生活に戻りつつある状態になってきている。特に3年間にわたり中止をしていたふれあいバザー規模を縮小ながらも開催し、地域の方々にも大いに喜ばれた。また、学校行事等も再開され、部活や行事等へ向けて練習をする児童の姿も見受けられるようになった。しかしながら感染の脅威が完全になく無くなったわけではなく、感染する児童も時折見受けられることから、今後もこまめな対策を奨励し、細心の注意を払って対応していきたい。

児童については、現員 17 人でスタートし、2023 年 3 月には 2 名の卒園生を無事に送り出すことが出来た。児童の障がいが多様化する中、児童の自律生活能力の向上の実現のため個別支援会議や日々のミーティングをしっかりと行い、対応を行った。支援方法等による職員のスキル不足は否めないが、外部研修等に積極的に参加して自己研鑽を行っているところである。スマホやタブレットを使った問題事案も発生し、都度対応を行った。

職場環境の整理については、働きやすい職場環境を醸成することに努め、職員に対する施設長面談を年 2 回実施し、職員の声を拾い上げるよう努めた。また、業務内容の見直しも積極的に行い、労働時間管理を適正に行うように努力した。職員の人員不足は否めないが、新人職員の育成に重きを置き、研修等の充実を図った。実習生も積極的に受け入れ、実習から当施設への就職を希望し、成約したことは成果であった。

今後の障害者福祉の国の動向や報酬改定について全職員が把握し、方向性を検討するため、現状の経営状況の周知をリーダー会等で積極的に議論し、課題の検討を行うことが出来た。

2 主な取組の実施状況と評価

(1) 利用者のニーズに合った支援活動の実施、教育環境の整備

- 児童主体のホーム会議を毎月行い、施設のルール確認を行った。
- アフターコロナの状況下において、利用者のニーズに対応するため、各行事への参加、外出、旅行計画等を奨励し、実行することが出来た。
- 性に関する問題事案が発生した。毎月学習会は行っているが、性教育の内容や伝え方に問題がなかったか、しっかり精査していく。
- タブレットの使用方法について、明確なルール作成が出来なかった。

目 標	実績	評価
①ホーム会議を毎月行う ②利用者ニーズへの対応 ③性教育を毎月行い、児童が性に対する正しい知識を身に着けるようにする ④児童のタブレット使用方法についてルール化する	①毎月ホーム会議を開催した ②行事への参加、外出、旅行計画など積極的に行った ③④児童の性に対する問題が発生した	2

1 達成できなかった 2 あまり達成できなかった 3 ある程度達成できた
 4 概ね達成できた 5 達成できた (以下同)

(2)働きやすい職場環境の整備、組織力の強化

- 全体会議、各種会議等で基本理念の共有、実践を職員全体で行う。
- 年2回の施設長面談を行い、メンタルヘルスケアや職場環境の改善に努めた。
- 休暇取得の促進を行い、年休取得は十分に出来た。4連休取得促進を行ったが、人員不足もあり、実績は上がらなかった。
- 労働時間管理については、全体会議等で意識づけをおこなったことで改善できた。
- 個々の職員のスキルアップを目指し、研修への積極参加を奨励したが、サポーターズカレッジの利用については不十分であった。

目 標	実績	評価
①職員全体で基本理念の共有、実践を行う ②年2回の施設長面談を行う ③休暇取得の促進を行う ④適正な労働時間管理を行う ⑤各種研修への参加、サポーターズカレッジの利用促進	①毎朝のミーティングや全体会議等を通して、基本理念の共有を行った ②職員に対する面談を行った ③年休の取得は積極的に行った。また、男性の育休対応も行った ④時間外労働に対する考え方を会議等で発信し、対応した ⑤研修への参加は積極的に取り組んだが、サポーターズカレッジの利用頻度が低かった。	5

(3)持続的な経営の安定化を図る

- 職員会議、リーダー会議等各種会議で財務状況確認を行い、全職員が現状認識できるよう努めた。
- 災害時BCP計画をしたが、全職員への周知までは至っていない。
- 5年後を見据えた事業展開について、今後の国の動向等確認し、リーダー会等で話し合った。

目 標	実績	評価
①全職員が財務状況を認識する ②災害時BCPの作成をする ③中長期計画作成のための勉強会等を開催する	①会議等での周知を行ったが、全員が理解するまでには至っていない ②災害時BCP計画を作成した ③各種会議等で、今後の動向等について発信を行った	4

(4)地域社会、関係機関との交流を深める

- ふれあいランチを今年度も継続して開催することが出来た。
- 地域文化祭への利用者作品等出品を行うなど、積極的に地域活動へ参加した。子供会行事へも積極的に参加した
- 実習生を積極的に受け入れ職員採用においては、実習からの採用に至った。

目 標	実績	評価
①ふれあいランチを月1回開催する ②地域行事へ積極的に参加する ③実習生の積極的受け入れを行う	①ふれあいランチを月1回開催した ②子供会行事等には積極的に参加した ③実習から当施設への就職を希望、採用に至った	5

3 サービスの利用状況

(1) 措置・契約

◇ 措置・契約児童の利用日数

2023年4月1日には現員17名（定員20名）からのスタートであったが、2024年3月末時点で18名となっている。

措置・契約の月別利用延べ人数

() 数字は前年度

※稼働率 %

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
措 置	292 (289)	324 (303)	324 (294)	326 (303)	288 (283)	360 (289)	372 (287)	358 (296)	353 (285)	352 (282)	347 (276)	351 (292)	4047 (3479)
契 約	176 (178)	214 (204)	227 (221)	185 (171)	82 (60)	212 (192)	234 (222)	229 (223)	192 (193)	200 (181)	219 (211)	168 (175)	2338 (2231)
計	468	538	551	511	370	572	606	587	545	552	566	519	6385
※	78	87	92	89	60	95	98	98	91	89	98	86	87

(2) 短期入所・日中一時支援

◇ 短期・日中一時支援の利用日数

利用人数はほぼ平年並み。コロナの影響もあり依頼も少なかった。

短期入所・日中一時の月別利用延べ人数

() 数字は前年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日中	13 (6)	15 (17)	19 (15)	9 (6)	0 (0)	19 (13)	18 (19)	6 (17)	11 (12)	12 (12)	14 (17)	8 (16)	144 (150)
短期	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

4 苦情対応の状況

◇ 苦情解決委員会 2023年9月29日、2024年3月22日2回開催

◇ 苦情対応の主な内容

- 日中利用を行っているご家族より、在園時どうしの距離感が近いとの指摘があり、改善が確認されるまでは当施設の日中利用を行わないといわれる。対応としては該当児童に対し、個別で性教育を実施。学校の方とも情報の共有を行い指導を行った。先方には対策点の報告も行い、利用再開の返答を受けた。
- 日中利用を行っているご家族より、日中利用時に入所児より目元にライトを当てられ不快な思いをしたとの相談がある。ご家族は利用中止を検討したが、都合上利用をしたいため、ライトハウスに対して配慮を要求された。対象となる児童特定は難しいが、相談内容を職員で共有し、日中利用時の過ごす場所を明確にする等対応を行い、納得いただいた。

5 主な行事

◇ 月別行事

5月	観劇
8月	阿蘇ファームランド一泊旅行 砂取夏祭り参加 キッチンカー
9月	遊友小子老デイ参加 観劇
10月	熊本ライトハウス70周年のぞみホーム30周年祝賀会 ハロウィン
11月	動植物園訪問 味千ラーメンキッチンカー来園
12月	クリスマス会 忘年会 もちつき 南阿蘇日帰旅行
1月	サーカス講演見学 マラソン大会
2月	ボーリング大会
3月	お別れ会

6 研修等の実施状況

◇ 研修内容

4月	法人新任研修
4月	ケースワーカー部会研修会
5月	自立支援勉強会
5月	児童福祉施設における児童虐待の基礎知識
6月	養協機関連携研修会
7月	第54回九州地区知的障害者関係施設職員研修大会（長崎大会）
8月	発達障がい者支援センターわっふる 行動の捉え方
8月	職業指導員 自立支援勉強会
8月	県養協ケースワーカー部会秋季研修会「生と性について」
9月	発達障がい者支援センターわっふる 「自閉症のための自立課題づくりワークショップ」
11月	県知障協会 サービス管理責任者全体研修会
	福祉職員救急法研修
11月	強度行動障がい支援者養成研修（基礎・実践）
1月	強度行動障がい支援者養成研修（基礎・実践）
	内部中堅職員サポカレ研修
2月	養協 ケアワーカー部会冬季研修会
	内部中堅職員サポカレ研修
	交流分析（エゴグラム）を活用した成長し続けるチーム作りのヒント

7 施設整備等

100万円以上で主なもの

○防犯カメラ設置 2,475,000円

8 その他

◇ ヒヤリハット・インシデントレポート・事故報告

- ヒヤリハット 155件
- インシデントレポート 41件
 - ・他害5件 ・破壊2件 ・自傷1件 ・離設 7件 ・異食4件
 - ・怪我4件 ・転倒1件 ・拘束8件 ・誤薬2件 ・落葉4件
 - ・薬その他3件

事故報告	2件
（内訳）	
● 離設	1件
● 動画撮影	1件

・個別案件については、リスクマネジメント委員会に報告を行い、対応を行っている。また、熊本市・児童相談所への報告も行い都度協議も行う。常に事故0を目指し、職員の研修等常に行っていく。